

「人生100年時代」に 期待している人 30.2% 不安である人 69.8%

ライフシフト・ジャパン株式会社は、このほど「100年ライフイメージ調査」を実施いたしました。その調査結果の速報版をご報告いたします。

「人生100年時代」という言葉を「知っている」人は77.9%

政府の構想会議のタイトルになり、2017年度の流行語大賞にノミネートされるなど、「人生100年時代」という言葉は各方面で使われるようになっていきます。その認知度を尋ねたところ、「よく知っている」人は、21.5%、「名前を見聞きしたことがある」人は、56.4%。8割弱の人が、この言葉を認知していました。

「人生100年時代」をポジティブにとらえている人は少数派

「人生100年時代」という言葉から想起するイメージを尋ねたところ、「期待している 30.2%⇔不安である 69.8%」「明るい 37.9%⇔暗い 62.1%」「ワクワクする 44.5%⇔どんよりする 55.5%」と、ポジティブにとらえている人は、少数派でした。「いろんなことをしたい 63.9%⇔やりたいことはあんまりない 36.1%」と、さまざまな経験を望む人が多い一方で、「長生きを楽しみたい 40.6%⇔そんなに長生きしたくない 59.4%」と、100歳まで楽しく過ごしたいと考えている人は4割にとどまりました。

調査主体 ● ライフシフト・ジャパン株式会社

調査目的 ● 「人生100年時代」の認知度、イメージ把握

● 個人の変身資産の蓄積状況

調査対象 ● 首都圏で働いている20～60代

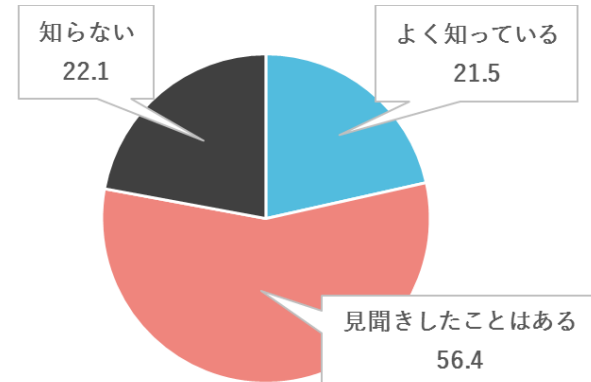
調査手法 ● ネットモニターリサーチ（クロス・マーケティング）

調査時期 ● 11月初旬

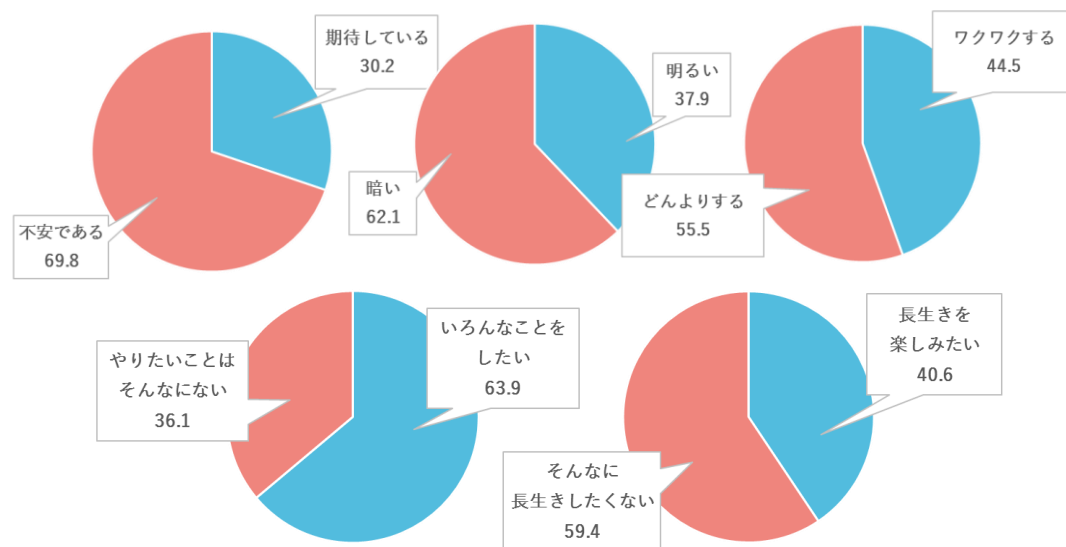
調査回答数 ● 1000名

* お問い合わせは、info@lifeshiftjapan.jp宛にお願いいたします。

「人生100年時代」という言葉を知っていますか？



「人生100年時代」という言葉を聞いて、 あなたはどのように思いますか？



変身資産を持っている人は 人生100年時代に ワクワクしています

私たちライフシフト・ジャパンは、多くのライフシフターの転身ストーリーに共通する行動や考え方を発見し、「ライフシフトの四つの法則」としてまとめています。その第四法則は「変身資産を活かす」。多くのライフシフターが、10項目の変身資産を活かして、ライフシフトを実現していました。

今回の調査でも、10の変身資産の保有状況を調査しています。分析の結果、変身資産を持っている人と、持っていない人では、「人生100年時代」をポジティブにとらえる比率に大きな違いがありました。

Just Do It とにかくやってみること

Q:思い立ったら、まずなにかやってみる。

Learnability どんなことから学んでいること

Q:他人の意見ややり方、考え方から気づきを得ることがよくある。

Unlearnability 学んだことを捨てられる勇気を持っていること

Q:過去の進学や就職、転職の時に、新たな環境にはすぐになじんできた。

Something Different 違和感を大切にしていること

Q:おかしいなと感じた時には、自分がなぜそう思うのか、よく考える。

Uniqueness みんなと同じじゃなくても平気なこと

Q:変わり者だといわれたことがある。

Multi Community 3つ以上のコミュニティに所属していること

Q:職場、家庭以外の、自分の居場所となるようなコミュニティを積極的に増やしている。

Seamless 有意義に公私混同していること

Q:仕事以外の活動に力を入れたことで、仕事も充実するようになったことがある。

Self Assessment 自分についてよく知っていること

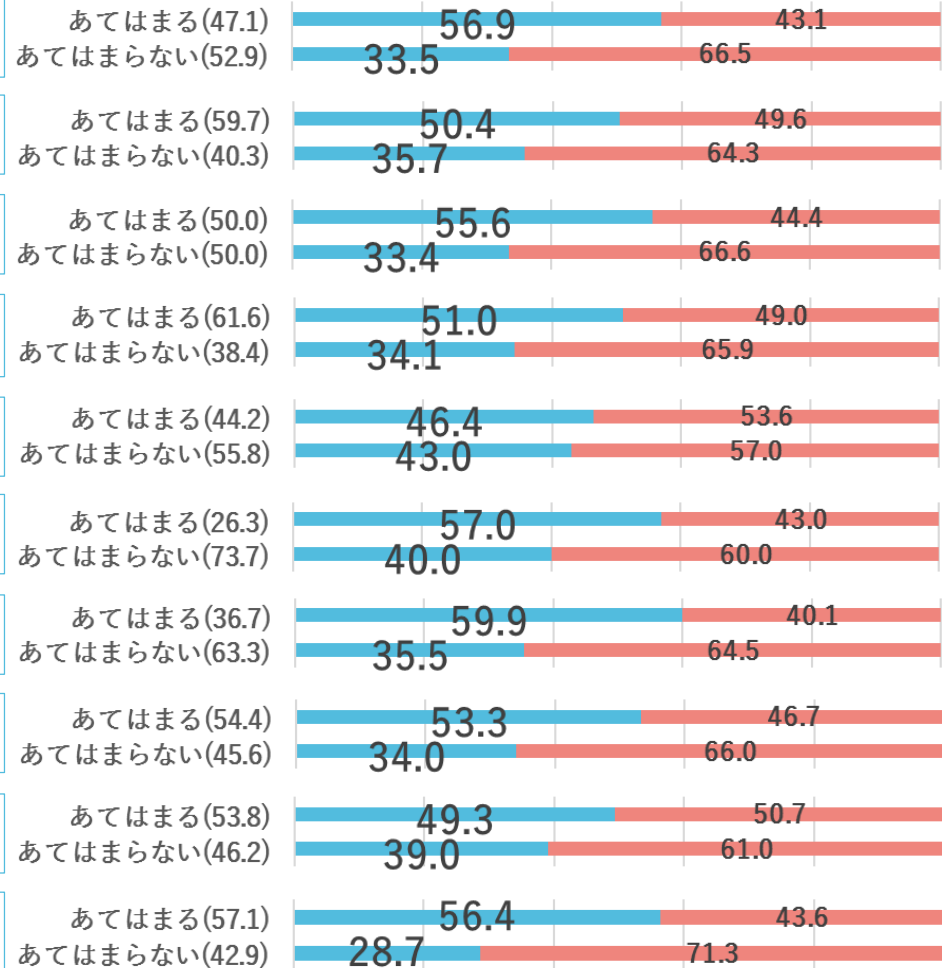
Q:自分の強み、弱みを、正しく自己分析できている。

Time Management 自身の人生時間を自分でマネジメントしていること

Q:何歳まで働くか、真剣に考えたことがある。

Fun To Shift 人生に起きる変化を楽しんでいること

Q:新しいことを始めるのは、ワクワクする。



■ ワクワクする ■ どんよりする

「人生100年時代」という言葉を聞いて、あなたはどのように思いますか？

*それぞれの変身資産の保有状況を複数の質問によって確認しました。上記の質問は、その代表的なものです。「あてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない あてはまらない」という選択肢による回答結果を、「あてはまる+ややあてはまる=あてはまる」「あまりあてはまらない+あてはまらない=あてはまらない」で再集計しました。